

- ◆企画名 関大生なんでも Q&A
日程 平成 24 年 4 月 2 日 (月) ~ 4 月 3 日 (火)
場所 総合学生会館凜風館前ブース (1 日目)、
総合学生会館凜風館 1 階 ピア・コミュニティルーム (2 日目)
参加者数 1 日目 : 12 名 (ピア・サポータ)、2 日目 : 11 名 (ピア・サポータ)

目 的

新入生に対して、授業やサークル活動などの大学生活や、日常生活（勉強とバイトの両立など）に対する不安を解消し、また時には適切な部署を紹介すること。
また、本事業を行うことで、間接的にはあるがピア・コミュニティの存在を新入生に認知してもらうこと。

内 容

新入生対象のオリエンテーション期間に相談ブースを設置し、KU サポーターズメンバーがブースにて新入生からの質問を受け付けました。
新入生からはこれからの大学生活に対する疑問や、質問などを受け付けました。
期間中の相談内容は「学内施設」の設置場所についての質問が大半で、場所の説明だけではわからないという方には実際に目的地まで案内しました。
主な案内施設は、教務センター、学生生活支援グループ、IT センター、サテライトステーション、サークルブースでした。

ブースでは新入生からの相談を受け付けると共に「ほっこり相談室」の案内や KU サポーターズの活動紹介を記載したビラの配布をしました。

感 想

オリエンテーション期間は、学生生活への悩みや不安というよりも施設案内が多かった。ブースを設けて新入生に対応することで KU サポーターズや「ほっこり相談室」の存在を新入生に知ってもらうとてもよい機会になった。

改善点

・新入生の一日の予定を把握する。
（理由）オリエンテーション期間は多くの新入生が大学に来るので、新入生に対し「ほっこり相談室」のビラを配布するよい機会だったにもかかわらず、新入生の行動時間をきちんと把握できていなかったことで、準備していたビラをうまく配布できなかった。
どの学部に学生が来ていて、どんなタイムスケジュールで動いているのかを把握することで、より効率的にビラをまくことができ「ほっこり相談室」の認知度を高めることができたと考える。

・当日のメンバーの役割
ブースでの相談対応、ビラ配り、場所の案内など、その場にいる人で対応しているうちにブースに人がいない時間があったので、事前に必要な役割を固定して、当日はメンバー各自が役割に準じて行動するようすることで、ブースが無人になることを避ける必要がある。